

# 市総合防災訓練

## 私たちの町は私たちが守る!

防災意識を高めようと8月28日、興居島地区で市総合防災訓練が実施され、地元住民や自主防災組織、関係機関など約700人が参加し、避難や救出など、実践的な訓練を行いました。

南海トラフ巨大地震発生時、島東部にある由良港は本市最大の3・9級の津波高が想定されています。

訓練は、9時に南海トラフを震源とするマグニチュード9・0、震度6強の巨大地震が発生し、9時3分に大津波警報が発令されたとの想定で実施されました。

からの避難指示を受け住民は、各自自主防災組織で決めた島内27カ所の一時避難場所へ避難しました。避難訓練後、興居島中学校に約200人が移動し、消火訓練や倒壊家屋からの救出訓練を行いました。また島北部にある馬漁漁港沖では、地震による津波の発生でプレジャーボートが転覆し、乗員3人が海上へ流され救助を求めているとの想定で、海難救助訓練も実施されました。



消防救急艇「はやぶさ」



けがをした人もリヤカーと一緒に避難



消火器を使って初期消火



倒壊家屋からの救出



支え合って高台へ



非常持ち出し品の展示



造成工事中の野蒜地区

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。本市は延べ1222人(9月1日現在)の職員を被災地へ派遣し、現在も2人の職員が宮城県東松島市で活動しています。

### 総務部防災課

竹田憲和さん

災害復旧支援のため「地域防災計画」の見直し、「津波防災地域づくり総合計画」の策定に取り組んでいます。東松島市は東北電力女川原子力発電所半径30\*圈内に含まれることから、地域防災計画では

原子力災害対策に関する計画も盛り込んでいます。

また災害発生時、行政施策の「公助」だけでは十分な災害対応ができません。自らを

災害から守る「自助」、地域社会がお互いを支える「共助」という地域防災力の強化のため、市内86の自主防災組織の運営支援も行っています。

東松島市の皆さんと一歩ずつ、復興へ向かって進んでいきたいです。

### 復興政策部復興都市計画課

永野哲さん

被災者の新たな移転先の区画整理事業を担当しています。東松島市は住宅用地の65%が浸水しており、防災集団

## 東日本大震災復興に向けて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。本市は延べ1222人(9月1日現在)の職員を被災地へ派遣し、現在も2人の職員が宮城県東松島市で活動しています。

### 東松島市

東日本大震災では震度6強を記録。野蒜地区では高さ10.35mの津波を観測し市全体の36%が浸水。「あの日を忘れずとも未来へ 東松島一心」をスローガンに、新たなまちづくりなどに取り組んでいる。

移転計画では、コンパクトで環境と高齢者にやさしい街区を目指し、駅近接の内陸部や高台を集団移転地に選定しています。中でも津波で大きな被害を受けた野蒜地区は名勝・松島の保護地区内にあり、手続きも通常の地区より多くなっています。また多くの箇所が山を切って谷に埋めていくという大規模工事なので、普段は見ることができない重ダンブを使って造成工事を行っています。

被災者の皆さんが一日でも早く移転先で快適に生活できるように頑張ります。

### 災害時の避難生活を支援



災害時に被災者の避難生活を支援しようと「災害時等における物資の供給に関する協定」を8月27日、レンゴ株式会社松山工場と締結しました。同社の久保田益造工場長(写真前列右)は「軽くて丈夫な段ボール製の簡易ベッドなどを避難所生活で役立ててほしい」と話しました。

船越自主防災会 防災士 池本 トヨ子さん(泊町)



災害時も冷静に

### 地区の方の声

- 余土中学校移転後の通学路に危険を感じる箇所があるので、安全に通学できるように検討してほしい(50代・男性)
- 公園でボール遊びができるようにしてほしい(10代・男性)
- 余土中学校跡地を余土地区のインフラの中心地にした(50代・男性)
- グラウンドゴルフ場を整備してほしい(60代・男性)
- 学校からの帰り道が不安なので、もっと街灯を付けてほしい(10代・女性)
- 大雨による浸水が心配。鉄



地域の課題を話す参加者

## 参加者募集

### 第11回II清水地区

【日時】11月9日(土)14時~15時30分

【会場】松山大学(文京町)

【対象】清水地区に在住または通勤・通学している人

【参加予定人数】80人程度

【申し込み】10月15日(火)(必着)までに、直接または郵送、ファクス、eメールで、参加申込書(タウンミーティング

・二回目・  
よと地区  
地域で市長と話そう!  
タウンミーティング  
No.7

9月1日(日)開催  
参加者88人  
人口2万3062人  
世帯数9234世帯  
(9月1日現在)



メモを取りながら活発な意見交換

### 感想

● 子どものころから余土地区に住んでいます。今回参加してまちづくりに興味関心が湧いてきました(30代・女性)

※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

ング課(市役所本館9階)・清水公民館・市ホームページ(あり)に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、地域についての意見などを書いて、〒7908571タウンミーティング課town-m@city.natsuyama.ehime.jp ※託児(無料)希望者は、申込書に明記してください

お問い合わせは、タウンミーティング課 ☎9486333  
☎93423336